

船橋自然散策会

秋の親子自然散策

西河内ひとみ（船橋市）

日 時：2022年11月13日（日）9:30～12:00 天候：晴れ

場 所：船橋市鈴身川周辺

参加者：26名（大人13名、子ども13名）

担当指導員：勝股、山口、西河内、 市職員3名

晴天の秋空の下 4才から小学校4年生までの子どもたちを中心としたニューファミリーの方々と
気持ちよく自然を楽しみながら歩くことができました。

散策したのは、船橋市にしては珍しく、古民家、長屋門もある古い農村です。電線も民家も自販機も目に入らない、谷津田の貴重な景色をたくさん眺めることができます。ドングリの森から出発し、行々林の森で遊び、高才川緑地公園までを全員が元気に歩き通すことができました。残暑が長く続いた秋でしたが、この日には、秋らしく急に黄葉が進み、木の葉が舞い降りていました。

最初の観察は、ムクロジの実です。この実を碎いて水に入れて振る実験を行いました。突然、泡ぶくがたくさん現れたので驚きの喚声があがります。これを洗濯に使った昔の知恵に感心。森の外には、実をつけたフユヅタと紅葉したナツヅタがあり、大きく成長しているので、根っこ探しをしました。ふなっしーで有名になった船橋の梨畑では、千葉県の作付面積が多く1位であることを紹介。

お茶の木には、花と実が見られるのですが、まだ生き残っていたスズメバチも現れました。川の源泉も見学しました。残念ながら1週間前に見られた水は、乾燥が続いたため隠れていきましたが、貴重な体験です。側に生えているイヌシデの種を投げくるくる回って飛び広がる様子も見ました。

行々林（おどろばやし）せせらぎの森では、様々な命の様子が観察できました。（フジがいくつかの他の樹木に絡んでいる姿、サンショウの香り、多量のクリのイガと虫にかじられた葉、朽ち木の下のカブトムシの幼虫、休耕田の草地での虫さがし[ツチイナゴ、コバネイナゴ、オンブバッタなど]、コセンダングサの種で引っ付き虫遊び、コガマの穂など）

谷津田と斜面林の間の農道では、土と草の上を歩くことができ、キタテハ、アキノノゲシの綿毛、ミヅソバの種、セイタカアワダチソウの花（この花で黄色く染色したクズの纖維）などにも出会いました。

鈴身神社には、令和3年12月にたてられた女人講の石碑があり、地域のコミュニティーが生きていることを物語っています。女人講の集会所は、昔から谷津の東側で行われることが多く、西の空の月が良く見える所に位置しています。小さな牧場の横では、牛の鳴き声、生き物の香り、牧草地などにも接することができました。高才川緑地公園付近では、コナラ、クヌギ、マテバシイ、ツバキ、シラカシなどの実を〈木の実いろいろ表〉を使って検索することもできました。番外編として解散後、シラカシ指パチンコを輪ゴムとセロテープの天然素材で作り、楽しむこともできました。



樹木の話を聞き入ります



行々林せせらぎの森で虫探し